



街の新たなシンボルが誕生

映画「ゆずりは」石碑プレートが完成

ほぼ全編が市内で撮影され、平成30年に公開された映画「ゆずりは」。劇中で使用したゆずりはの木は、市民会館の敷地内に植樹されています。

昨年、映画の制作会社がこの木の周囲に石碑プレートを敷く「ゆずりはの木」植樹プロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングを実施しました。

プロジェクトに賛同していただいた人たちのご好意で、石碑プレートが11月に完成しました。

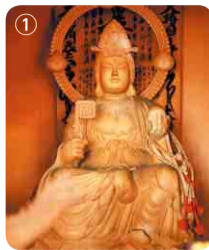


▲石碑プレートには、出演者や支援者の名前などが刻まれています

この木や映画への愛着を深めてもらいたいという思いが込められています。街の新たなシンボルの誕生です。

八千代の“八”にちなんだ八福神

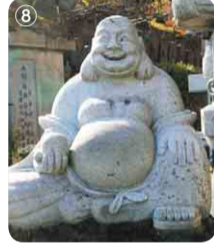
お参りしながらの散策で新しい発見も



室町時代の末期ごろに京都で始まったといわれる七福神。市郷土歴史研究会の提案で、八千代の“八”にちなみ、一般的な七福神に吉祥天を加えた八福神が安置されました。お参りしながら、市内を散策してみると、新しい発見ができるかもしれません。

詳しい場所などは、(一社)市観光賑わいセンターホームページかココシルやちよで確認できます。

①妙光寺・吉祥天/小池531、②妙徳寺・大黒天/真木野244、③東栄寺・福祿寿/保品917、④長福寺(米本)・弁財天/米本1587、⑤正覚院・毘沙門天/村上1530-1、⑥長福寺(萱田)・寿老人/萱田1427、⑦貞福寺・恵比寿/吉橋804、⑧観音寺・布袋尊/高津1347



「新川」には、洪水をなくしたいという江戸時代の人々の願いが 今から待ち遠しい桜と春のイベント

市の中央を流れる新川は、印旛沼と東京湾をつないでいます。洪水をなくしたいという、江戸時代からの人々の願いが込められ、何度も挫折を繰り返しながら、250年という歳月を経て

昭和43年によく実現しました。

享保9年、洪水の被害に苦しむ人々のために、初めて掘割工事に取り組んだといわれている人が、平戸の名主、染谷源右衛門でした。4月に行われる源右衛門祭は、自分の財産までもつぎ込んで地元のために取り組んだ功績と、開削に関わった人々を偲ぶために始まりました。当時は工事に関わっていた人たちに、大鍋で料理をふるまっていたらと、直径2mの源右衛門鍋がつくられ名物になっています。この鍋でつくる「もちぶた炙りチャーシューバージョンとん汁」は、ニッポン全国鍋グランプリで殿堂入りしています。

新川千本桜事業は、新川を桜の名所にしようと、たくさんのボラ



▲約700本の河津桜並木は、日本最長級の全長4.6kmにわたります



▲大和田機場での春の一般開放

ンティアの手によって進められました。主にソメイヨシノ、陽光、河津桜が植えられています。3月上旬には、農業交流センターを会場に、八千代新川千本桜まつりが開催されます。一足早く花を咲かせる河津桜のライトアップは、幻想的な雰囲気を演出します。

新川の開削工事と同じくして完成した大和田機場では、敷地内の桜の見ごろに合わせて春の一般開放を行っています。機場の役割や仕組みなどの説明を聞きながら、普段は見られない設備を間近で見ることができます。

八千代歌壇

佐波 洋子選

約束がいつも本当だった日の交換日記押し花の跡

(八千代台西) 伊藤 智子

夕さればきぎすの親子帰りゆく演習地の端は雛育つ森

(萱田町) 吉田 仁子

わが居間はエレベータートレインの終着駅霧をしたがえ

モーニングコーヒー (八千代台東) 森野 豊作

秋の野のわが口笛に心へるかねこじやらしはつか揺れ始めたり

(八千代台西) 元村 泰介

巡礼のやすらうごとく水郷にあやめが白き花うかべおり

(八千代台東) 藤井 京子

朝顔の蕾のような幼虫は無事飛び立ちぬ神無月の朝

(下市場) 村越喜美子

母の逝きしはあの窓あたり廃院に這い昇る鳶の風に揺れおり

(八千代台西) 吉田 早苗

台風でなぎ倒されしジンジャーの真白き花は気高く香る

(桑納) 石上 文枝

生々と咲く朝顔に覆われて花桃の植木遂に枯れたり

(村上) 綱島みち子

選評 一首目、上の句には青春のナイーブな感覚が表出され、誰もが経験した様な共感を誘う。さりげない過去形に大人になった現実の苦さが滲み、押し花は青春の形見の様だ。

二首目、自衛隊の演習地の端に雛を育てる雉がいじらしい。三首目、「エレベータートレイン」が面白く最上階の終着駅を引出し、眼下に見る霧と朝のコーヒーの雰囲気を出した。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

よろめいて見られたかなと振り返る 大和田新田 渡邊けい子

平穏な時世の裏にある不安 八千代台北 萩原 桜見

先ず値段贈答品は妻の知恵 村上団地 成瀬 謙三

一日をどう過ごそうか楽隠居 村上団地 本荘たみこ

きれいな好き滑る廊下が怪我の元 米本 西澤はるか

マフラーを昨日欲しくて今日は邪魔 緑が丘 勝田 賢

山茶花が咲いて童謡連れて来る 緑が丘西 加茂 英代

人情を切り取って建つ高いビル 大和田 羽生田はる

酔ったふり口説いたママは友の妻 緑が丘 坂根 元幸

催促はするもされるも嫌なもの 勝田台 塩田 正男

ネクタイをゆるめて覗く子の寝顔 勝田台 藤川 朝生

リサイクル・ガイド
消費生活センター 483-1151(代表)

受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分〜午後5時。市内在住の人が対象です。
【ゆずりて・無料】▼婦人用自転車(24インチ以上) ▼絨毯・カーペット(サイズ不問) ▼電動自転車